

一宮市在宅医療・介護連携様式の手引き（修正版）

医療・介護の関係職種が連携し、本人家族への切れ目のないサービスが提供できるよう、一宮市在宅医療・介護連携推進協議会では一宮市内共通の連携様式を作成しております。この度、多職種の方のご意見をお聞きし見直し、修正しました。主な変更点は、①介護サービス共通診断書のリハビリ・入浴中止基準記入欄、②救急患者基本情報シートの本人の望み記入欄、③入院時に活用する地域連携アセスメントシート提供先一覧に有床診療所を追加しました。

新様式シートは「一宮市医師会ホームページ」や「ささえiネット一宮」に掲載されておりますので、今後はそこからダウンロードしご利用いただきますようお願いいたします。なお、各シートは本人（家族）の同意のもと作成してください。

令和5年2月 一宮市在宅医療・介護連携推進協議会

【在宅療養時での活用】

1. 一宮市介護サービス共通診断書（入所、通所等）

利用シーン	入所・通所等サービス利用時
利用目的	施設で異なる診断書様式を市内共通化し、医師の診断書作成の負担や利用者の診断書取得の負担軽減を図る。
対象者	下記サービス利用者 入所：老健、特養、ショートステイ、グループホーム など 通所等：通所介護、通所リハ、小規模多機能 など
運用方法	①診断書はサービス事業所より求めがあった場合のみ利用します。 (診断書の提出を一律に義務付けるものではありません) ②診断書作成料は各医療機関が定める料金となります。 ③診断書の有効期間は6か月です。 ④診断書は本人家族が管理・保管してください。 ⑤サービス事業所は診断書原本を確認のうえコピーして受け取り、原本は本人家族へ返却してください。

2. 主治医・ケアマネジャーFAX 連絡票

利用シーン	診療所医師とケアマネジャー間の連絡時
利用目的	ケアマネジャーから主治医への連絡方法を市内共通化し、効率的な情報伝達と医師・ケアマネジャー間の連携促進を図る。
対象者	定期的に受診歴のある患者
運用方法	①連絡票による連絡は無料となります。 ②相談内容などは簡潔に記載してください。 ③「軽度者等に対する福祉用具貸与の例外給付」の依頼は、連絡票ではなくケアマNET 一宮の所定様式をご利用ください。

3. 救急患者基本情報シート

利用シーン	救急搬送時
利用目的	普段の状態や緊急連絡先などを事前に把握し、搬送時の正確迅速な情報共有と、情報不足による付き添い負担の軽減を図る。
対象者	在宅療養中、施設入所中の高齢患者
運用方法	①救急搬送時に救急隊や搬送先医療機関へシートを提供してください。 ②シートは本人家族、またはケア職種・施設職員が記入作成してください。 ③作成したシートは冷蔵庫の見つけやすい場所に保管し、救急隊にシートがあることをお伝えください。(自宅の場合) ④連絡先変更や状態変化のつど内容を更新してください。 ⑤「ご本人の望みに近いものを選んでください」項目は、無記入のまま使用いただいても構いません。

【入院時に活用】

一宮市地域連携アセスメントシート

利用シーン	入院・入所時、多職種との連携時
利用目的	高齢患者のアセスメント情報を市内共通化し、入院時や多職種連携時に円滑な情報共有を図る。
対象者	在宅療養中、施設入所中の高齢患者
運用方法	①情報提供時は個人情報適切に管理してください。 ②シートで介護保険の「入院時情報連携加算」が算定できます。 ③病院にシートを提供する際は、担当窓口一覧(別紙)をご覧ください。

【退院時に活用】

尾張西部医療圏看護・介護連携シート(尾張西部医療圏病院看護管理者会監修)

利用シーン	退院時、在宅医、訪問看護師など多職種との連携時
利用目的	高齢患者の身体・生活機能等の情報を、退院時や多職種連携時に円滑な情報共有を図る。
対象者	入院又は入所中の高齢患者など
運用方法	①情報提供時は個人情報適切に管理してください。 ②在宅医がいる場合は在宅医にも提供してください。